



ご挨拶 PTA会長



西 靖典

今年度、正院小学校のPTA会長を務めさせていただくこととなりました。皆さん、よろしくお願ひいたします。あれほど猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症も、五月八日からは五類感染症に移行され、学校行事や地域行事も以前と同じように開催されていくものと思われまます。



ただ、新型コロナウイルス感染症の影響は、様々なものを変えてしまったように思います。この三年ほどの間に、マスク着用の習慣もそうですが、黙食や毎朝の体温チェックなど私の娘(小三)には、これが小学校でのルール(当たり前の行動)となっており、マスクを気にしない行動、おしゃべりしながらの楽しい給食を知りません。

私自身、一保護者として、コロナ禍での行事中止は楽だったと思います。しかし、私はそう思っている、子供達は非常に残念がっていました。特に学

校行事は「誰のために」あるのか、を改めて痛感させられました。だからこそ、今年度は、可能な限り学校行事を開催していただき、子ども達に楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

そのためには、保護者の皆さまのご協力が必要となります。前例踏襲なやり方ではなく、出来る人が、出来る時に、出来ること、に対して協力し合い、「子ども達」のために一年間頑張ってください！正院小学校児童二十八名全員が、楽しかった！と言える令和五年度になりますよう、引き続き、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

委員会の活動

運営委員会(役員)

- 委員長 西 靖典(会長)
- 委員 木挽 朋美(母親代表)
- 前 勝也・堂端 光枝(副会長)
- 山野 仁志(校長)・仲谷 正子(教頭)

新型コロナウイルス感染症も五類へ移行し、穏やかな日々が送れるかなと思っていた矢先の大地震。安全とは言えない通学路。地域の方々や先生方のご協力のもと、安全に学校生活や登下校ができることに日々感謝しています。

運営委員会では、学校行事への協力や、PTA活動の計画・運営を行っています。交通安全当番や相撲大会、パレード、救急救命講習会、親子行事などがあります。今年度は、海水浴場を設置し、海水浴を行います。児童数、保護者数の減少に伴い、今ま

でと同じように活動していくことは難しい現状にあり、今まで以上に保護者の皆様にお願ひすることが増えるかと思いますが、ご協力をお願いいたします。

子どもたちが楽しいなと思える学校生活、笑顔がたくさんみられる学校行事を継続して行っていくように、先生方、保護者の皆様と一緒に活動させていただきます。

理事会(学級委員)

- 委員長 柳 健次(高学年)
- 副委員長 新出 栄就(高学年)
- 委員 谷内前 達也・皆口 英樹(中学年)
- 山田 真優(低学年)

PTA理事の主な役割は、会員の研修活動や児童の健康・安全に関する活動の推進を図ることを目的に、行事の計画立案と運営を行うことです。

夏には、海水浴場の設置・撤去や監視当番の説明と合わせて救急救命法講習会を行います。親子行事については、児童のやりたいことをやらせてあげられるようサポートします。

秋には、運動会でPTA種目を設定しますので、ぜひ児童に保護者の勇姿を見せてあげましょう。また、家庭教育学級として非行被害防止講座を実施し、給食試食会も行います。

このほか、交通安全指導当番や除草・清掃作業の活動もありますので、「子どもたちのために」皆様の御協力をお願いいたします。(新出 栄就)

創立記念校内相撲大会

【我が子が学校横綱になって】 岡田 豪詞

金の御幣に憧れ、相撲部に入り五年が経ちました。コロナで、校内相撲大会が二年間なく、昨年再び開催され、「今年こそは、横綱になりたい」という思いから、練習を頑張ってきました。



相撲部であるからこそ、勝たなければならぬという、プレッシャーとも向き合いながら、この大会で横綱になれ、心身ともに一回り大きく成長することが出来たと思います。子供の喜ぶ姿を見て、つつい涙が出てしまいました。

五月五日の地震による被害が大きい中、伝統ある校内相撲大会が、今年も行えたのは、正院相撲連盟の皆様、校長先生をはじめ諸先生方、PTA役員の皆様のおかげです。感謝しております。本当にありがとうございました。



【我が子が大関になって】 番匠 哲也

新型コロナウイルス感染症も、徐々に落ち着きやつと日常を取り戻そうかという矢先にあの地震に見舞われ子供たちの生活が一変しました。この状況の中で伝統ある相撲大会が開催されたことは、すごい決断だと思われ素晴らしいと思いました。

今年から新しく学校大関は女子で勝ち残ったものがあるということでした。

あの大きな大関の御幣を目指して子供たち一番・一番 最後まであきらめずに土俵でも頑張る姿に勇気と感動、そしてパワーをもらいました。

本人は『最初は大関になれるとは思ってなかった』ようですが『勝ち続けるうちに、一番になりたいと思う気持ちが強くなりあきらめずにがんばれた』ということでした。娘の頑張る姿に、とても成長を感じました。

最後になりましたが、伝統ある相撲大会を開催するためにお世話してくださった連盟の皆様、先生方、保護者のみなさん、ありがとうございました。



児童の感想から

・すもう大会はとってもきんちょうしました。わたしのすもう大会の目標は、「勝っても負けても、しっかり最後のあいさつは大きな声で言う。」という目標でした。わたしは、大きな声であいさつができたのでよかったです。

・すもう大会の日は、お父さんもお母さんも見に来てとてもドキドキしていました。初めに戦った時は、いつもよりは長く土俵にいたことができたけれど足が出てしまいました。(中略)はつけよいといわれると、相手は頭からきたのでよかったです。それから体を押すと勝つことができました。今までのすもう大会で初めて勝てました。うれしくてうれしくて、初めてそんきょもできて、ニコニコで土俵をおりました。お父さんとお母さんもとてもほめてくれました。次は個人戦などで3回は勝ちたいです。たくさん特訓したいです。

創立記念鼓笛パレード

六月四日の創立記念鼓笛パレードはお天気恵まれて無事に行われました。この日に向けて真面目に練習に励んでいる様子は学級

だよりから度々お知らせ頂いていました。子供達からの意見をまとめてパレードの目標を「正院町の皆さんに笑顔、元気、勇気、感謝を届けよう！」になった事も書かれてありました。実際にパレードを見た人達にはその目標が十分に達成されたと感じました。特に「負けないで」は地震で大変な思いをされた正院町の人達の胸に強く届く曲だったと思います。ここまで元気に上手に演奏やダンスが出来たのも毎日の練習や先生方の御指導のおかげだと改めて感じました。その日は、熊本からの震災ボランティアの方々も焼いてくださったピザを食べた後だったので、さらに力強く行進出来たのかもしれない。この行事を通していろんな人達に見守られて心豊かにたくましく育ってくれた事をありがたく思いました。



(角居 千恵)

児童の感想から

・鼓笛パレードでは、初めての木琴だったけど、しっかり前を向いてひけたし、歩いているときは、足は少しずれる時があったけど、間を取って歩いたり、列もそろえたりできてよかったです。今年も、目標だった地域の人々に、笑顔・元気・勇気・感謝を届けられたし、楽しめたので、また来年も地域の人々もたくさん楽しめるように、感謝などの気持ちも届けたいです。



・わたしはキーボードでした。ましがえないかとても心配でした。でも、友達が「だいじょうぶ、いっしょにがんばろう。」と言ってくれたので、鼓笛パレードの演奏中は、心配な気持ちではなく、楽しい気持ちで演奏できたのでよかったです。来年もみんなと力を合わせてがんばりたいです。

救命救急法講習会に参加して

「恥ずかしかったあ〜。」という、子どもではなく大人の感想です。

先の大地震により、今まで人命の危機に遭遇していない私には、いざという時の対処方法を習う絶好の機会でした。

迎えた講習当日、娘とペアになり、消防士の方からAEDの手順を教わりますが、娘も嫌がるだろう、且つ私も恥ずかしいなと思いつつ、大声で「人が倒れている！誰か居ませんか！」と叫んでみました。私の起こりうる場面を想像しながら、緊張の汗も止まりません。その緊張も、子どもたちの大きな声によって、すぐに払拭されました。もちろん恥ずかしがる子どもも居ますが、時間の経過とともに声が大きく、楽しそうになっていきました。

今の私では、恥ずかしさと同様に緊張時に動ける自信がないので、とにかく数をこなすしかないと思っています。

楽しく講習を受けている子どもたちを見ると、率先して人の命を助けに行ってくれるようにも思えてきました。

人命救助の場面はあってほしくありませんが、どんな場所でもあり得る話。なら、恥ずかしさで助けられなかったという結果にならないように準備をしていきたいですね。

(小谷内 隆之)



西本 瑠璃（るり）さんにインタビュー

- Q 好きな教科は？
A ずこう
えのぐをつかったりするのがたのしいから。
- Q 好きな給食は？
A フルーツポンチ
いろいろなフルーツがはいっているから。
- Q 今、一番がんばっていることは？
A てつぼう
できないわざをできるようにになりたいから。
- Q 学校で一番楽しかったことは？
A 休みじかに、体育館でするスロープ（登り綱）
ロープでぶらぶらするのがたのしかったから。



今年度の新入生は、三名。
担任の松川未夢先生と一緒に学習
した。担任の先生は、三名。
担任の先生は、三名。
担任の先生は、三名。

森 風翔（かざと）さんにインタビュー

- Q 好きな教科は？
A ずこう
いろいろなどうぐをつかえるのがたのしいから。
- Q 好きな給食は？
A カレーライス
おにくとやさいがおいしいから。
- Q 今、一番がんばっていることは？
A バランスボール
ジャンプするところがむずかしいからがんばっている。
- Q 学校で一番楽しかったことは？
A 休みじかに、体育館でするスロープ
まえとうしろにゆれるのがたのしいから。



山田 大隆（だいいゅう）さんにインタビュー

- Q 好きな教科は？
A たいく
ボールなげがたのしいから。
- Q 好きな給食は？
A アジフライ
あまくておいしいから。
- Q 今、一番がんばっていることは？
A さんすうのひきざん
すらすらいえるようになりたいから。
- Q 学校で一番楽しかったことは？
A ひるやすみのバスケ
シュートをいれられたらうれしいから。



編集後記

久しぶりにマスク生活からふだん通りの生活になり、学校行事もコロナ前に戻ったようです。頑張っている学校と共に私たち保護者もPTA活動に取り組んでいます。

地震もあり、子どもたちもつらい思いをしているところもありますが、鼓笛パレードや相撲大会で、子どもたちの頑張りに地域の方々が大変喜んでくださっていたことがとても印象的でした。

「楽しい思い出をたくさん作ってほしい。」子どもたちが一生懸命、楽しく行事を行っているのも家族も楽しくなります。

令和五年の夏休み以降も、行事を予定通り行い、子どもたち、家族、地域の方々の良い思い出になるようにと願うばかりです。

（前勝也）

